

## 資料1 | 年表 | 新型コロナウイルスの感染拡大とミニシアター・上映者(2020~2021)

2020年(令和2年)	
1月	1月中旬、国内で初めて新型コロナ感染者を確認
2月	2月3日、乗客の感染が確認されたクルーズ船「ダイヤモンドプリンセス号」が横浜港に入港 2月20日、第70回ベルリン国際映画祭開幕、例年通り開催(〜3月1日) 政府「全国的なスポーツ、文化イベント等の中止、延期又は規模縮小等の対応を要請」(2月26日) 安倍首相 全国の小中高・特別支援学校に休校要請(2月27日)
3月	「全国的なスポーツ、文化イベント等の中止、延期又は規模縮小等」の継続要請(3月10日) 新型コロナウイルス対策の特別措置法成立(3月13日) 文化芸術振興議員連盟「新型コロナウイルス感染拡大防止に係る文化イベント自粛要請に関する緊急決議」を採択→萩生田文部科学大臣、菅官房長官に提出(3月23日) 3月24日、東京オリンピック、パラリンピック延期決定 3月25日、東京都、週末の外出自粛要請→都内の映画館週末休館を決定 文化庁長官メッセージ「文化芸術に関わる全ての皆様へ」(3月27日) 志村けんさん 新型コロナによる肺炎で死去(3月29日)
4月	雇用調整助成金、特例措置開始(4月1日) SAVE the CINEMA プロジェクト第1回オンラインミーティング(4月4日) 4月6日、SAVE the CINEMA 要望文公開、署名活動開始 文化芸術振興議員連盟による緊急決議を踏まえ、文化芸術推進フォーラム緊急アピール「文化芸術をつなぐため、今、必要なこと」文化庁に提出。(4月6日) 4月7日、7都府県(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県及び福岡県)に緊急事態宣言を発令(5月6日まで)⇒多くの映画館が休館に(4月7日) 2020(令和2)年度第一次補正予算を閣議決定 文化芸術分野の支援策の概要を公表(4月7日) ゆいロードシアター、長期休館を発表(4月12日) 4月13日、ミニシアター・エイド基金(クラウドファンディング)スタート⇒3日間で目標額1億円を達成 SAVE the CINEMA 内閣官房、厚生労働省、経済産業省、文化庁へ要望書提出(4月15日) この時点での署名数…66,828筆 4月16日 緊急事態宣言全国に拡大⇒ほぼすべての映画館が休館に 4月25日、仮設の映画館、配信開始 キノシネマ天神[福岡市]がオープン(4月28日) 2020(令和2)年度補正予算案、国会提出(4月27日)⇒補正予算成立(4月30日) 映画芸術 2020年春号「特集:ミニシアターはいまどうしている?」刊行(4月30日)
5月	持続化給付金(経済産業省)申請受付開始(5月1日) 緊急事態宣言、5月31日まで延長を発表(5月4日) SaveOurSpace主催DOMMUNE【それぞれのSaveOurLife ~命と仕事を守ろう~】(5月7日) 5月10日、カンス国際映画祭、通常通りの開催中止を発表 5月14日、39県で緊急事態宣言、解除 8都道府県(北海道、東京、神奈川、千葉、埼玉、大阪、兵庫、京都)は5月31日まで延長 ⇒全国興行生活衛生同業組合連合会(全興連)「映画館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」発表 5月15日、ミニシアター・エイド基金クラウドファンディング終了→日本のクラウドファンディング史上最高額(3.3億円)を達成 5月15日、Help! The 映画配給会社プロジェクト、アップリンククラウドでの配信を開始 映画(SAVE the CINEMA)、演劇(演劇緊急支援プロジェクト)、音楽(SaveOurSpace)、三者共同アクション「#WeNeedCulture #文化芸術復興基金をつくろう!」スタート(5月16日) 5月21日、42府県で緊急事態宣言解除 北海道及び首都圏は継続 #WeNeedCulture 2Days キャンペーン! (5月21-22日) webシンポジウム「#WeNeedCulture 文化芸術復興基金をつくろう」 #WeNeedCulture at DOMMUNE ~文化芸術復興基金をつくろう~ 鶴岡まちなかキネマ[山形県鶴岡市]閉館(5月22日) 文化芸術振興議員連盟 総額500億円の緊急支援策と、「文化芸術復興基金」の創設を求める要望書を文部科学大臣に提出(5月23日) 5月25日、全国で緊急事態宣言解除⇒徐々に映画館再開(東京都の映画館への休業要請継続) 5月27日、2020(令和2)年度第2次補正予算案閣議決定 ミニシアターパーク、サイトオープン(5月27日)
6月	6月1日、東京都の映画館への休業要請解除⇒東京都の映画館再開へ キネマ旬報6月上旬号「緊急特集:映画と生きる」刊行(以後、連載継続)(6月1日) ミニシアター押しかけトーク隊、活動開始(6月3日) 吉良よし子議員(日本共産党)、国会文教委員会にてWeNeedCultureについて言及 WeNeedCulture、公明党の呼びかけで、文化庁、経産省、厚労省、財務省と勉強会

6月	<p>国会予算委員会で第2次補正予算案審議</p> <p>#WeNeedCulture &lt;政府予算案の内容と課題について深く考察する!!&gt;～記者レク&amp;意見交換会(6月10日)</p> <p>斉藤よしとか議員(立憲民主党)、参議院予算委員会にてミニシアター、ライブハウスについて言及(6月11日)</p> <p>参議院予算委員会、山添拓議員(日本共産党)の質問に対し、安倍首相「ミニシアター・ライブハウス・小劇場は、映画・音楽・演劇の多様な文化芸術の創造、発信を支える場として、我が国の文化芸術をより豊かに育てていくために重要な役割を果たしている」と認識をしている(6月12日)</p> <p>国会にて2020(令和2)年度第2次補正予算成立(6月12日)</p> <p>文化庁「文化芸術への緊急総合支援パッケージ」の概要を発表→ミニシアター、ライブハウスも申請可能に ・文化芸術活動の継続支援事業(509億円) ・文化芸術収益力強化事業(50億円)</p> <p>アップリンク[東京]元従業員らが代表をパワーハラスメントで提訴</p> <p>東京都、映画館への休業要請を全面解除(6月19日)</p> <p>WeNeedCulture、公明党のよびかけで、文化庁、経産省、厚労省、財務省と勉強会 第二次補正予算概要説明(6月23日)</p>
7月	<p>文化庁、「文化芸術活動の継続支援事業」第1次募集開始(7月10日)</p> <p>経産省、「家賃支援給付金」申請受付開始</p> <p>7月15日、SAVE the CINEMA 署名活動終了 署名数…91,659筆</p> <p>SAVE the CINEMA moment サイトオープン(7月16日)</p> <p>7月18日 ミニシアターを救え! SAVE the CINEMA / ミニシアター・エイド基金 / SAVE the CINEMA moment 合同報告会</p> <p>GoToトラベルキャンペーン始まる(7月22日)</p> <p>映画芸術2020年夏号「特集:ミニシアターはいまどうしてる?その後」刊行(7月31日)</p>
8月	<p>文化庁、「文化芸術活動の継続支援事業」第2次募集開始(8月8日)</p> <p>8月28日、安倍晋三内閣総理大臣、辞任を表明</p> <p>8月28日 ユジク阿佐ヶ谷[東京]、無期限休館へ(12月9日閉館)</p>
9月	<p>SAVE the CINEMA moment「ミニシアタースタンプラリー」スタート(9月1日)</p> <p>9月2日、第66回ベネチア国際映画祭、開幕(～9月12日)⇒『スバイの妻』(黒沢清監督)が銀獅子賞受賞</p> <p>政府、9月19日からのイベントの人数制限緩和を発表、映画館も100%以内の収容が可能に(9月11日)</p> <p>文化庁、「文化芸術活動の継続支援事業」第3次募集開始(9月12日)</p> <p>文化芸術推進フォーラムと緊急事態舞台芸術ネットワーク、「文化芸術活動の継続支援事業」の改善を求める要望書を萩生田文科大臣に提出(9月15日)</p> <p>9月16日、菅義偉内閣総理大臣就任</p> <p>映画館の席数制限解除可能に(一部映画館は50%制限継続)(9月19日)</p> <p>9月20日、アジアフォーカス・福岡国際映画祭開幕(～9月25日)上映のみ</p>
10月	<p>WeNeedCulture、演劇・映画・音楽合同の要望書(文化芸術の継続支援事業の改善を求める)を提出(10月14日)</p> <p>ユジク阿佐ヶ谷[東京]の労務問題やハラスメントの実態について元スタッフがSNSで告発</p> <p>10月31日、東京国際映画祭、東京フィルメックス開幕(～11月9日)</p>
11月	<p>政府分科会が緊急提言「急速な感染拡大の可能性も」(11月10日)</p> <p>11月25日、西村経済再生相「この3週間が勝負」新型コロナ対策強化方針発表</p> <p>『そして映画館はつづく』(フィルムアート社)刊行(11月26日)</p>
12月	<p>12月15日、GoToトラベル全国一時停止を発表</p> <p>第3次補正予算案閣議決定</p> <p>12月中旬 文化庁、第3次補正予算案概要を公表 ・ARTS for the future!(文化芸術活動の充実支援事業)(250億円) ・文化施設の環境設備事業(50億円) ・アートキャラバン(70億円)</p> <p>「全国コミュニティシネマ会議2020」(12月16日 @ユーロライブ(渋谷))オンライン+会場で開催</p> <p>12月31日、東京都新規感染者数1000人を超える(1,337人)</p>

## 2021年(令和3年)

1月	<p>1月7日、1都3県(東京、神奈川、千葉、埼玉)に対し、2度目の緊急事態宣言を発令(2月7日まで) ⇒映画館や劇場に対し、午後8時以降の閉館(時短営業)の「働きかけ」(舞台挨拶等イベント実施時は収容率50%以下に)</p> <p>広島国際アニメーションフェスティバル、映画祭の終了を発表</p> <p>WeNeedCulture、緊急事態宣言を受けて、財務省、経済産業省、文化庁に要望書提出(1月13日)</p> <p>1月13日 緊急事態宣言11府県に拡大(大阪、愛知、福岡、京都、兵庫、岐阜、栃木も対象に)</p> <p>WeNeedCulture 緊急要望に関する記者レク&amp;意見交換会(1月14日)</p> <p>webシンポジウム「WeNeedCulture #芸術は生きるために必要だ」Choose Life Projectで配信(1月20日)</p> <p>雇用調整助成金、コロナ特例措置の延長を発表(緊急事態宣言が全国で解除された月の翌月末まで)(1月22日)</p> <p>文化芸術推進フォーラムと緊急事態宣言発令を受けて緊急要望を財務省、文化庁および経済産業省に提出</p> <p>1月27日、日本映画製作者連盟、2020年の映画産業に関するデータを発表⇒興行収入が1432億円、前年比54.9%に(45%減)</p>
----	--

1月	1月28日、2020(令和2)年度第3次補正予算成立 現代アートハウス入門、全国18館のミニシアターで実施(文化庁「文化芸術収益力強化事業」)(1月30日~2月5日) 映画上映情報のプラットフォーム「Arthouse Press/芸術電影館通信」開設(arthousepress.jp)
2月	WeNeedCulture、菅内閣総理大臣、麻生財務大臣、萩生田文部科学大臣、梶山経済産業大臣、宮田文化庁長官、山口公明党代表に公開質問状を送付(2月11日) 持続化給付金(経済産業省)申請期間終了(2月15日) 2月18日 #WeNeedCulture at DOMMUNE 『#失くすわけにはいかない』
3月	ベルリン国際映画祭開催(オンラインは3月、授賞式やリアル上映は6月に実施)、『偶然と想像』(濱口竜介監督)が銀熊賞受賞 3月11日、文化芸術振興会議・文部科学部会開催 WeNeedCulture(SAVE the CINEMA)と意見交換 3月21日、緊急事態宣言、1都3県(東京、神奈川、千葉、埼玉)で解除、全都道府県で解除となる その後も外出自粛や時短要請を継続 アジアフォーカス・福岡国際映画祭、映画祭の終了を発表
4月	文化庁長官に都倉俊一氏が就任 宮崎キネマ館[宮崎市]がリニューアルオープン(4月2日) SAVE the CINEMA、国会前でサイレントスタンディング #ミニシアターにも協力金を(4月21日) SAVE the CINEMA、東京都に対し、緊急事態措置に応じた映画館に対する協力金を求める要望書を提出(4月24日) 4月25日、緊急事態宣言、4都府県(東京、大阪、兵庫、京都)で開始(~6月20日) ⇒東京都は1000平米超の映画館に対し休業を要請、シネコンは休館を決定(1000平米以下の映画館へは休業の協力依頼) 4月26日、文化庁「ARTS for the future!」事業の第一次募集を開始(~5月31日) WeNeedCulture、YouTube Live「文化が潰される! 三度目の緊急事態宣言」(4月26日) 参議院文教科学委員会、齋藤よしとか議員(立憲民主党)がミニシアターについて質問(4月27日)
5月	WeNeedCulture、各政党と経産省に要望書を提出(5月6、7日) 緊急事態宣言の延長決定、東京都、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等」発表、1000平米超の大型映画館に対する休業要請継続(5月7日) 全興連及び東京都興行生活衛生同業組合(都興組)、東京都の大型映画館への休業要請継続に対し声明文「映画を愛する皆様へ」を発表(5月11日)、 SAVE the CINEMAでもSNS等で拡散 SAVE the CINEMA、東京都庁、大阪府庁前で「#映画館への休業要請に抗議します」サイレントスタンディング実施(5月11日、14日) SAVE the CINEMA、東京都と面談(5月13日) 5月12日、緊急事態宣言、愛知、福岡で開始(~6月20日) 5月16日、緊急事態宣言、北海道、岡山、広島で開始(~6月20日) SAVE the CINEMAと全興連、都民ファーストと面談(5月18日) 5月23日、緊急事態宣言、沖縄で開始(~7月11日) SAVE the CINEMAと全興連、都民ファーストと面談(5月25日) 5月28日、東京都、映画館等に対する休業要請を6月1日より解除することを決定 5月31日、文化庁「ARTS for the future!」事業、第一次募集を終了 5月31日、映連、全興連、都興組、SAVE the CINEMA共同で「緊急事態宣言及び緊急事態措置の変更に対する声明」を発表
6月	シネマネコ[東京都青梅市]がオープン(6月4日) アップリンク京都[京都市]がオープン(6月11日) 6月20日、沖縄以外は緊急事態宣言を解除、まん延防止等重点措置へ移行(~7月11日) Japanese Film Project(JFP)が始動
7月	例年より2カ月遅れでカンヌ国際映画祭開催(7月6日~17日) 『ドライブ・マイ・カー』(濱口竜介監督)が脚本賞ほか4賞受賞 東京五輪、首都圏全会場での無観客開催が決定(7月9日) 7月12日、緊急事態宣言、東京で開始(~9月12日) 東京オリンピック、開幕(7月23日~8月8日) エピスシネマ。[兵庫県丹波市]がオープン(7月30日)
8月	8月2日、緊急事態宣言、埼玉、千葉、神奈川、大阪で開始(~9月12日) まん延防止等重点措置、北海道、石川、兵庫、京都、福岡で開始(~8月31日) 8月8日、まん延防止等重点措置、福島、茨城、栃木、群馬、静岡、愛知、滋賀、熊本で開始(~8月31日) 8月13日、文化庁、ARTS for the future! 事業一次募集の審査が終了 申請:5,368件 交付決定2,713件 8月20日、緊急事態宣言、茨城、栃木、群馬、静岡、京都、兵庫、福岡で開始(~9月12日) まん延防止等重点措置、宮城、山梨、富山、岐阜、三重、岡山、広島、香川、愛媛、鹿児島で開始(~9月12日) 夏休みの映画館、全国7会場(シネマテークたかさき、横浜シネマ・ジャック&ベティ、松本CINEMAセレクト、大阪シネ・ヌーヴォ、元町映画館、熊本Denkikan、鹿児島ガーデンズシネマ)で開催(8月21日~8月27日 AFF対象) 東京パラリンピック、開幕(8月24日~9月5日)
9月	8月27日、緊急事態宣言、北海道、宮城、岐阜、愛知、三重、滋賀、岡山、広島で開始(~9月12日) 9月6日、文化庁、ARTS for the future! 事業の2次募集開始(~9月17日)

9月	<p>自民党総裁選挙実施、岸田文雄が内閣総理大臣に選出(9月29日)</p> <p>9月30日、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置、すべての都道府県で解除</p>
10月	<p>シマフィルム[京都]が公式サイトにおいて、「立誠シネマプロジェクト」及び「出町座」の労務問題に対する声明を公表</p> <p>ワクチン接種、2回目の接種率が70%を超える(10月26日)</p> <p>10月7日、山形国際ドキュメンタリー映画祭、全面オンラインで開催(～10月14日)</p> <p>鶴岡まちなかキネマ、再開に向けてプレ上映を実施(10月15日～2022年1月16日)</p> <p>10月30日、東京国際映画祭、東京フィルメックス、日比谷で開幕(東京国際映画祭:～11月8日、東京フィルメックス:11月7日)</p> <p>衆議院総選挙投票日(10月31日)</p>
11月	<p>オミクロン株、国内初確認(11月30日)</p>
12月	<p>12月1日、「第66回映画の日 中央式典」(主催:映画産業団体連合会)で、SAVE the CINEMAに感謝状授与</p> <p>12月10日、文化庁「ARTS for the future!」事業二次募集の審査が終了 申請:5,832件 交付決定:4,311件</p> <p>12月下旬、文化庁、令和3年度補正予算案概要を公表(合計905億円)</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ARTS for the future! 及びアートキャラバン(556億円)</li> <li>・地域活性化のための文化財保存・活用事業(82億円)</li> <li>・地域の伝統行事等のための伝承事業(65億円)ほか</li> </ul> <p>オミクロン株、国内初の市中感染を確認(12月22日)</p>
<b>2022年(令和4年)</b>	
1月	<p>1月9日、まん延防止等重点措置、沖縄、山口、広島で開始(～1月31日/延長:～2月20日/広島のみ延長:～3月6日)</p> <p>岩波ホール[東京]、コロナ禍の影響による運営困難を理由に2022年7月末での閉館を発表(1月11日)</p> <p>シモキタ・エキマエ・シネマ K2[東京]がオープン(1月20日)</p> <p>1月21日、まん延防止等重点措置、東京、埼玉、千葉、神奈川、群馬、新潟、愛知、岐阜、三重、香川、長崎、熊本、宮崎で開始(～3月6日)</p> <p>1月25日、日本映画製作者連盟、2021年の映画産業に関するデータを発表⇒2021年興行収入が1618億円(前年比113% 2019年比62%)</p> <p>小野沢シネマ[高知県益田市]がオープン(1月26日)</p> <p>1月27日、まん延防止等重点措置、北海道、青森、山形、福島、茨城、栃木、石川、長野、静岡、京都、大阪、兵庫、島根、岡山、福岡、佐賀、大分、鹿児島で開始(～2月20日/延長:～3月6日)</p>
2月	<p>2月3日、全国コミュニティシネマ会議2021、ユーロライブ[東京・渋谷]で開催</p> <p>コロナの新規感染者数が初めて全国で10万人を超える</p> <p>2月4日、北京冬季オリンピック開幕(～2月20日)</p> <p>『ドライブ・マイ・カー』(濱口竜介監督)、米アカデミー賞作品賞にノミネート(2月8日)</p> <p>2月12日、まん延防止等重点措置、高知で開始(～3月6日)</p> <p>2月17日、文化庁、ARTS for the future! 2 募集要項を公開</p> <p>2月24日、ロシアによるウクライナ侵攻開始</p> <p>2月25日、まん延防止等重点措置、沖縄、山形、島根、山口、大分で解除</p>